

道路境界確定協議特記仕様書

境界確定協議

1. 道路敷地と民地との境界（筆界）を現地において隣接土地所有者と立会協議（道路境界確定協議）を行い確定すること。
2. 受注者は土地所有者に道路境界確定協議の趣旨を的確に説明し、不用意な言動は慎むこと。
3. 道路の幅員（境界）は現場調査及び道路境界の根拠となる資料等を収集し事前に監督員と協議すること。
4. 既設の道路境界標は前号において事前に監督員と協議しその位置において支障があれば、隣接土地所有者と新たに立会協議すること。また支障が無い場合でも境界同意書を取得すること。

道路境界杭設置

1. 道路境界確定協議により、境界が確定した箇所に、道路境界標を設置すること。またその位置及び杭の種類、幅員等を公図に記入すること。

同意書

1. 道路境界確定協議が成立した場合は、隣接土地所有者から路線毎に境界同意書に署名押印を得ること。
2. 境界同意書を得た場合、現地仮杭の場合は後日、道路境界標を設置する旨隣接地権者に説明し了解を得ること。

未立会

1. 立会通知書の返送等、特別の理由により立会協議が実施出来ない場合は、発注者において調査し連絡するものとする。

再立会協議

1. 隣接地権者の都合や天候により、立会協議が実施出来なかった場合は、再度道路境界確定協議を行うこと。

立会報告書

1. 道路境界確定協議後に立会経過報告書を作成し監督員の確認を受けること。
2. 道路境界確定協議が未確定に終了した場合は、道路境界未確定報告書を作成し監督員の確認を受けること。